

# 第7回柳瀬川・空堀川流域連絡会 全体会

## 議 事 録

日時：平成21年1月21日  
於：北多摩北部建設事務所1階会議室



## 【開 会】

事務局 時間になりましたので第7回の柳瀬川空堀川流域連絡会を開催させていただきます。始めに配布資料の確認させていただきます。議事次第、委員名簿、あとまとめてクリップ止めになっている資料。表紙に資料リストが示してありますのでご確認いただければと思います。あと前回の第6回流域連絡会の議事録をお配りしております。後で見れば何か修正点がありましたらご連絡いただければ修正いたします。その後ろに第6回以降の分科会の議事要旨も付いております。不足の資料がありましたら言って下さい。それでは座長、進行をお願いいたします。

座 長 皆様のお手元に配布してあります、議事次第に従いまして進めさせていただきます。先ず、開会ということで、一言ご挨拶させていただきます。お寒い中、お忙しい時期に、第7回柳瀬川空堀川流域連絡会にお集まりいただきありがとうございます。今回の会議が第4期の流域連絡会の最後になるわけですが、最初の第1回流域連絡会は、平成11年11月に発足し、第4期流域連絡会は、平成11年12月に発足いたしまして約2年間、活発に且つ熱心に活動してまいりました。その間、全体会の開催は本日を含め7回、水循環分科会、河川環境分科会はそれぞれ11回、12回に及んでおります。委員の皆様には、改めて敬意を表するとともにこの場を借りまして深く感謝を申し上げます。ありがとうございます。

第4期の流域連絡会の主な成果としましては、水循環分科会では、水涸れマップの作成、水量確保に向けた意見交換、芝中調節池の将来計画の検討があります。河川環境分科会では、現地調査に基づく河川環境の問題点と改善点の意見交換、植樹イベントの実施があります。

現在、第5期の流域連絡会の委員を募集しております。新たな流域連絡会でも、これまでの流域連絡会で皆様と積み上げてきた大切な成果、検討課題を引き継ぎまして都民と行政が手を携え、共に考えよりよい川づくりに向けて地域の皆様の意見を反映させながら進めたいと思います。平成19年度末の整備率は、空堀川では82%、柳瀬川ではまだ36%であります。完成にはまだまだ時間がかかります。河川の環境整備につきましても旧川の整備方法、水量の確保などまだまだ都民の方々や流域の市と一緒に考えていかないといけない大きな課題が残っています。財源や制度上の制限など難しい問題もありますが、東京都としましてもよりいっそう皆様に愛され喜んでもらえる川となるように今後とも皆様と一緒に河川整備を進めてまいりたいと考えています。本日も活発なご意見とご検討をお願いできればと思います。どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、次第に従いまして、「3.水循環分科会の活動報告」からお願いいたします。

事務局 今日、水循環分科会の活動報告をお願いしていましたが 委員、まとめ役が急きょ体調を崩されましてご欠席されましたので、事務局の方でご説明させていただきます。補足は水循環分科会の方々にしていただければと思います。よろしくをお願いいたします。

配布資料の最後に縦長A3の流域連絡会開催状況という資料があります。水循環分科会が左側に書いてあります。第4期では第4回全体会で水循環分科会が発足してお

ります。第3期の水量確保分科会で提案されたことを検討しながら進めて来た状況にあります。一部の皆さんに現地を確認していただきながら、水涸れマップを作成したり、現地調査をしたり、水量確保対策の取り組みについて意見交換したり、河床張りの検討などを行ってきました。後半の第9回水循環分科会からは芝中調節池の将来整備計画を検討しましょうという話がありまして、11回までの3回、意見交換、検討を行いました。資料に芝中調節池の将来整備(案)がありますのでご覧ください。芝中調節池の整備は、7～8年後と先ですが、この分科会である程度整備案を検討しようということで、まだ、あまり基礎調査も行われておりませんので、地盤高等諸元がわかっていませんが、話し合った結果を残そうと言うことで概ねの整備(案)を事務局でまとめました。読みますと緩傾斜の親水護岸とし、開放的な空間にする。親水護岸部に散歩道を設ける。親水護岸上部に植栽する。多目的広場は残す。旧川は雨水貯留できる構造とし、上部は管理用通路とする。今後の課題としては、調査が進んでいないので地盤高等を把握して再度検討する。雨水貯留施設の目詰まり対策や雨水排水の利用等の検討が必要である。ということが本文で、その下に検討経緯と言うことで、9回～11回分科会で皆さんから出た意見の要旨を整理して記載しました。初めて聞く人にはわからないことがあると思い、芝中調節池の現在の写真も付けました。東大和市内にあり、現在は河道内の洪水調節池として機能している施設です。多目的広場としてゲートボール場が川底にあり、将来河川整備された後、残す必要があるかなど検討をしたということです。事務局で何かイメージ図を作って欲しいという話があり作った資料です。3ページ目に図を示してあるように、新しい川の右岸側に広い場所がある。管理用通路と書いてある所が現在の河川です。整備後は旧川になるところです。旧川は碎石等で埋め戻し雨水を取り込めるようにしたらどうか、上部に植栽をする。多目的広場は残そう。洪水になった時、徐々に水が入り、流速を少し落とすことが可能かどうかというイメージ図です。次のページが断面図です。A-A断面は中央の部分です。緩傾斜護岸を旧川の管理用通路から川底へ持って行き緩い護岸とし、途中に散歩道を設ける。というイメージになります。将来、河川整備すると現在の河床より上げなければいけないので、その部分を埋め戻す必要があります。また多目的広場の部分がB-B断面です。しょっちゅう河川水がくるのは良くないと言うことで一段高くする方向で作ったらどうかという意見をもとに作成した案です。この資料は、時間のないうちで第4期の皆さんが残しておこうということで、事務局に作成して欲しいということで作成したものです。まだ調査ができていない部分もあり、できれば第5期でも検討していくことになると思います。また、水循環分科会を開いて確認された資料ではありません。事務局でまとめた資料ですので、水循環分科会の皆さんが、これは違うというご意見がありましたらご意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。

座長 事務局から水循環分科会の活動報告がありましたが、何か違う点がありましたら一つずつ解決していきたいので、ご意見等がありましたらよろしく願いいたします。  
私の方から一点だけ伺いたいことがあります。芝中調節池の3ページの図面ですけれど緩傾斜護岸の下部から水色の線がでていますが、これは貯留した雨水を流すというイメージですか？

事務局 そうです。どのくらい雨水が貯まるか、難しいところもありますが、4ページの断面図で示してある旧川から水色の点線で示してあるように、貯まった水を流し、でき

れば広場に水が流れるとうれしいなという風なものです。

座長 いろいろな課題があり、今後、検討しなければいけないですね。他にご意見等ございますか？

団体委員 この図は最終案ではなく、これを叩き台として第5期で話し合いが始まると理解すればよろしいですか？

事務局 基本的にはそうです。水循環分科会の皆さんの意見をもとに作成。これが固定というわけではなく、あくまでもイメージ図として、なんらかまとめたものを作って欲しいということで水循環分科会の皆さんの意見をもとに作成したものであります。今後、まだ調査が不十分であること、整備時期がまだ先であることがありますので、できれば第5期の皆さんに検討していただくのがよいのかなと思っています。

団体委員 これは、固定のものではなく、前回までの水循環分科会での話し合いがこうだったということで受け取ればよろしいですね。

事務局 基本的にはそうです。

座長 あくまでも限られた時間中でまとめたもので、途中の案と思って下さい。

都民委員 これは、かなり長期的に検討しなければならないことですよ。実際の工事にはいるまではずっと先である。

事務局 今は奈良橋川合流地点の工事をしており、順次上流に向かって工事をしていくので、はっきりした時期はわかりませんが7～8年は先になると思います。

都民委員 7～8年は先のことを今から色々考えることは結構大変なことです。本格的に検討し、いつまでに終わらせなければいけないのか、だいたいつ頃ですか？期限を決めないで検討すると皆さんやる気をなくすのではないかと。

座長 事務局の方から話がありましたが、7～8年先に工事になりますが、工事を実施する1年前には詳細設計を行います。その前に基本設計を仕上げると思います。これは、私の個人的な考えであります。次の2年間、第5期で一つの案をまとめて、基本設計や詳細設計の時期にもう一度再確認をし、実際の設計に反映していければと思います。せっかくこれまで意見が煮詰まってきているので第5期で引き続き意見をまとめれば良いと思います。

都民委員 そういうことであれば、流域に住む住民の声を聞くために、「こういう所でこういう事始まる」ことをPRすることが必要だと思います。そういう声を聞かないでこの会で検討を進めるわけにはいかないと思います。そういった声を聞くことから始めると、第5期から始めないと間に合わないですね。

座長 合意形成を進めていくために市や皆さんとご相談しながら進めていきたいとします。その他何かありますか。なければ河川環境分科会の活動報告に移りたいと思いま

す。 委員よろしくお願いいいたします。

団体委員 2年間、色々ありがとうございました。この前に1～3期ありましたが、ほとんど成果がありませんでしたが、4期は、柳瀬川・空堀川の現状について、地図を揃えていただき、私たちに現地を足で歩いて見させていただいた。そこでたくさんの課題が出て、それを地図上に示し残させていただいた。その課題は急いで解決すると言うことではなく、目標をきちっと合わせて一步一步、いい川にしていくという道筋を今回出させていただいたと思います。そしてともに見ることにより、どういう川がいい川といいますが、夏の暑い時、雨の降っているとき、雪の中も歩きました。散策をするのにどういう川がいいのか、50mm対応の河川で70mm、100mmの雨が降ったらどうなるのだろうという治水や、それから環境ですが樹木のない河川の味気なさ、夏の暑いときの照りつけられる暑さ、水のない低水路を見た時にいかに水が無く石河原のヒートアイランド現象を起こし環境にもいいものではない。川を見れば水が欲しいことは一目瞭然である。水があればどんな生態系が生まれるか、予測ができない程水は大きな恵みで恩恵が与えられる。やはり川には水が欲しいということと、川らしい景観を保っていくために、そして環境を考えた時に緑は必要だ。ということで、今期、エノキ・ムクノキを先ず植栽させていただいたということは、河川環境分科会として大きな成果であった。それをまた来年も続けて、その他の課題についても一つ一つ検討していきたい。お金をかけないとできないことなのか、木を植えれば維持管理に手間がかかるのか、団体のあるいは各市、行政の意識の持ち方や周りの都民に皆さんの意識の持ち方までも一緒に話し合いをしながら環境作りができたらいいなという強い思いがありました。今期は、事務局にはマップ作り、植栽など大変なご苦勞をかけました。水循環についても雨水貯留に一生懸命係われたらやっていくというみんなの思いが一つになったと思う2年間でした。ありがとうございました。

座長 どうもありがとうございました。河川環境分科会の活動について具体的になおかつ全体的にお話があったわけですが、何か追加があればお願いいいたします。

事務局 配付資料に上砂一の橋の植樹イベントというのがあります。折角ですので記録に残るものがあればと思い作成しました。参加されなかった方もいらっしゃると思いますので簡単に説明させていただきます。平成20年11月29日土曜日の午前中に上砂一の橋付近に適地がありましたのでエノキを3本、ムクノキを2本右岸側に植え、左岸側にもエノキ1本を植えました。東大和市のメンバーの方にお骨折りいただき、子供も含め33名が参加し盛大に植樹イベントを行うことができたという経緯と、こんなお知らせを作成し関係の都民を含めて参加をお願いした。当日の次第も載せてありますが、委員が進行役としてイベントを進められました。後は写真を見ていただくと判ると思いますが、開会をして、子供たちと植樹をし、まとめ役に植栽したエノキ、ムクノキの説明をしていただきました。右下の写真が最近の状況です。街灯も設置され少しずつ変わってきています。子供たちが遊び場に使っているため、植栽した樹木の枝が折られているという委員からの情報があります。よかったですら状況説明していただければと思います。

団体委員 植樹のその後を簡単に説明させていただきます。今日もここに来る途中によってきました。植樹したエノキ、ムクノキの下の枝が残念ながらむしり取られている状況が

あります。さんと個別に話をさせていただき、何か工夫をして理解してもらおうということで、適当な掲示板を設置するなど何か講じていただけないかなということをお話させていただいた。なお、この資料にははっきり記載されていませんが、清瀬市の部長さんから小さなクヌギとかの苗木を何本や寄せられていまして、これも空いているところに植えましたが、これも抜かれておりまして暮れから正月明けも何回も探して植えてきました。風でとばされることはないと思うし、踏みつけられたり、子供が悪戯して、抜かれてしまう。仕方がないので持ってきてしまった。「ここに植えてあるんだよ」ということをわからせないと無理かなと思っています。あるいはもう少し大きくなるまで手で育てて植えた方がよいと思う。どなたか庭のある方が預かって頂ければと思います。折角、皆さんのご協力で植樹イベントが賑々しくできたのですが、残念ながらその後が十分に理解が得られていないのかなと思います。市の参事に伺ったところ、その時の写真等の市報での掲載が2月になるということで、そういうことも含め、広報が十分にされれば理解もされるのかなと思います。それまでの間は知っている人がケアをしてあげないといけないのかなと思います。市内の委員の皆さんもし時間があったら見に行ってください。

座長 枝がむしられ、枯れそうなのですか？

団体委員 そこまではいいいけません。下の枝だけむしり取られている状況で、幹自体に傷が付いている状況には至っていません。今のうちに何らかの対策を講じないといけません。

座長 注意等を促す看板などを検討させて下さい。

団体委員 委員が植樹の時に持ってきていただいたカラーの樹木の写真と文章を書いたものを張っていただけると、こんな木に育つのだなと子供たちに分かると思う。大人がやっているとは思えない。小学生、中学生の中には悪ガキがあり、悪戯されるのはやむを得ない。そんな相談をまたさんとさせていただきます。

都民委員 清瀬市の四小の脇に木がありまして、根っこが全く同じ所から生えていたので分けて植え直したら、ある時根っこから抜かれて川に放り込まれたことがあった。どういう人間がするのか疑問に思いました。花が咲いているとその枝を折ることもやられてします。ずっと同じ事をされた。そういうところにある植物を大事にするというPRが必要です。PRすると逆に余計にやられてしまうような感じがします。

団体委員 とかくへそ曲がりというか、私の子供の頃を考えると、悪戯したものですよ。生き物を見るとカエルでも虫でも捕まえて殺してしまう。鳥の巣を見つけると卵を取ったり、悪戯をしたものです。ある種の教育の裏返しかもしれないが、そこをうまく知ってもらおうというか、理解してもらおうことですから、長い目で理解を求めていくことです。いきなり叱りとばしていけないし、そんな気がしています。いい方法はないが、粘り強く理解してもらおうまでするということいとしかない。

都民委員 管理している人がいない時にやるのです。

団体委員　そうです。

都民委員　大人がしているのかもしれませんがね。

団体委員　通る人に聞いたところ、どうも子供がやっているようです。私は通る人に植樹のことを簡単に説明している。だんだん知っている人が多くなっていると思います。子供はしょうがない。そういう子供はいますよ。やむを得ない。

座　長　子供は軽い気持ちで、罪の意識も無くやっていると思う。掲示を出せば、思いとどまる子供も多いのかと考えていますので、検討させてください。

団体委員　それと、当日は第四小学校のPTAにも学校を通じてご連絡して何人が参加して頂いたけれど広く知られていない。学校全体でそういうイベントをこうすることで植樹をしましたって言うことが伝わっているかどうかなんですね。どううまく伝えていくか考える必要がある。

都民委員　それに関していいですか？お知らせの文が載っていますけど、その分を私に頂ければ四小に持っていったのですけど、これは無かったんですよ。ですから四小宛のお手紙といいましても私個人のお知らせというか、植樹の案内の手紙を持っていただけなのです。ですから、お知らせの文も四小に持っていくということは分かっていたと思うんで、このお知らせを私に下さればよかったと思うんですね。ですから学校宛には行っていませんよね？ただPTAの会長に渡すということを言われただけで、やはり四小の校長宛に渡すのが計画的ではないかなと思います。

団体委員　そういう意味では、今からでも遅くないので、委員を通じてルートを作っていたので、植樹のその後ということでうまく現状を伝えてもらって、子供たちに、2月に市報に載るわけですから、そこでもう一回、ちょっとそんな働きをしておいていただければなと思います。

都民委員　担任の先生が生徒に一齐にこういう植樹がありますよと、こうやって町づくりをしていると授業の一環として5分でも10分でも言ってもらおうといいなと思いますけどね。でないと、渡しおいてこれを読めではね、そんなに効果は無いと思いますよ。

団体委員　どうでしょうかね。そのことで改めて委員にご足労掛けるかと思いますが、学校とPTAに両方、あと子供たちに直に理解できるようなツールがやっぱり、読んでもらえるようなツールを整えて、もう1回お話をさせていただけると、言うことだと思います。ツールが無いと学校もわざわざ自分たちでチラシ作ったりしませんよ。だからこっちがツールを用意してそれを配布してもらおうとか、掲示してもらおうとか、そこまで用意しないと学校も動かないんだと思いますね。だから、単にPTAに、役員に話をするということが終わったということですね。

座　長　このA3の植樹イベントの報告書がありますけど、これについて一言子供たちに大事にするように伝えてもらいたいといえば効果があるのではと私は思いますけれど、いかがでしょうか。

団体委員 そうやって掲示を学校のどこかにしてもらえば、一番ですけどね。なんかそんな風にしてもらいたい。

都民委員 先生がこういうことを口で生徒に言うってこと自体、先生の頭の中に自然を大切にすることってことが染み出るんですね。ちょっとそれはねえ、その日だけでなくいろんな所で先生の口から出ることが大切だと思う。

団体委員 そうですね。おっしゃるとおりだとおもます。それと、不幸な出来事。小さい出来事としても、枝が折られたり、苗が抜かれたりしている不幸な出来事ではあるんですけど、これが、一つのきっかけなのです。そういうことはやっぱりあったということで、現実を伝えて、それは第四小学校の子供かどうか分かりませんが、伝えてもらって理解を求める。これは事実ですから、そういう粘り強い動きというのは、我々にとって必要なと自負しておりますけど、よろしくをお願いします。

都民委員 看板は、焚き火をしちゃいけないっていう看板ですよ？枝折っちゃいけないっていう看板でなく・・・

事務局 それで今、委員と相談して、みんなで植えた木です。大切に育てましようとして書いて、市に確認していませんが、東大和市建設環境部と連名で出したいと思っています。至急でやるとなるとパウチして、鳥居に取り付けたいと思っています。でも風が吹いてすぐ飛ばされてしまう気がします。ぶら下げるタイプは特にまずいとか色々考えています。鳥居の横に縛り付けるみたいな感じのものかなと思っています。ただそれだと、ちょっと目立たないし、今日、ムクノキとエノキの写真を持ってきていただきましたので、拡大して、それを防護柵の方に貼っておくとか。ただ、あんまり離れて貼っても何のことだか分からないので、木の近くにないとまずいかなと思っています。どうしたらいいか、委員と相談して進めたいと思います。

団体委員 そうですね。本当は学校の先生に時間とっていただいて、こうしましたと見てもらって、協力を求めるというのをしないとイケないね。個人的な感想ですが、授業にうまい具合使ってもらえばいいんですけどね。現場に連れ出してもらって川と植樹した所、街路灯も整備してもらっているわけですけど、要するに川に関するもろもろのところをまとめてもらってですね、教育してもらおう。勉強の場に使う。その一環の中で木の話をしてもらえばありがたい。そんな風に思っています。また委員にご足労願いたいと思います。

事務局 もう一つよろしいですか。今日、委員がいらっしやらないので、今、水道局の東村山市浄水場の川側ですが、工事のためにフェンスがありますが、水道局が使っているんですけど、3月までに工事が終わり、フェンスが無くなってきれいになる予定です。そこにサクラの木を何本か植える簡単な植樹イベントをやりたいと、委員と相談しています。出来れば3月の始め位にセットしたいと思っています。その辺も調整が整いましたらご連絡をさせていただきます。

座長 サクラは大体何本ぐらい植えられそうなんですか？

事務局 河川の敷地内は北北建である程度自由に検討出来るのですが、水道局の敷地があり、水道局はあまり触っちゃ駄目だとか、木を植えてはだめだとか言っているものですから、まだ何本植えられるか決まっています。コンクリートのよう壁を隠すように、何か植えたらどうか、と調整しているところです。

座 長 それでは植樹イベントで植えた樹木の保存、方法についてちょっと話し合っ、具体的な方法を進めていきたいと思います。

団体委員 植えると必ず痛む木もあるのですね。清瀬の金山調節池のテラスの所にやっと今1mになったオニグルミがあります。オニグルミを植えたり、河川に相応しい木を植えているのですが、必ず折られるんです。蹴っ飛ばされ倒されたり、枝を切られたり、そういう苦難にあいながら育てなければいいのかなと思います。今回はほんとに東大和市の行政の皆さんの大きなご尽力と地元の皆さんのお力でせっかく植えていただけたものですからね、できたら、しっかり枝・幹が伸びて少々子供たちに登られてもびくともしないようにするには8年はかかりますけど、そこまでいけたらしめたものかなと思います。それまではあまり細かいことまでは良いのではと思います。ただ、「みんなが注目している木ですよ」という表示だけしておいていただければと思います。

座 長 そうですね、特に最初の時期ですからしっかり認識してもらうための方法としても必要がありますね。

団体委員 駄目だったらまた植えるということで、よろしくをお願いします。

座 長 河川環境分科会の活動報告についてはこれでよろしいでしょうか。

団体委員 どうでしょうか。補足がありましたらお願い致します。

座 長 何かありましたら、また、戻って話をするというので。

団体委員 ありがとうございます。

座 長 それでは五番目の柳瀬川・空掘川散策マップについて、これは事務局の方からでよろしいですか。

事務局 はい。お配りしてあります散策マップ、おかげさまで、有志の皆様は何回もお集まりいただき、こういうものが出来てきました。表紙をご覧ください。右下の方に流域連絡会の名前と北多摩北部建設事務所の名前を入れさせていただき、連名で発行することを考えています。今日の流域連絡会でご了解を頂かなくてはならないと思っております。内容は、見開きの所を見ていただくと、流域のイベントを載せております。関係市の行政委員の方にお伺いしたり、都民の皆様にご集めていただいた資料をもとに何月にどんなイベントをしているということで載せております。ただ、行政委員の方からイベント情報に記載されているが、市の方で把握できていないイベントがある。市の

ほうに問い合わせがあった時に答えられないかもしれないという意見がありました。そういうのを除くとスカスカになってしまうので出来ればそういうイベントの資料を市の方へお届けするなど、方法を考える必要があると思っていますが、一応イベントカレンダーを載せております。その下に各市のガイドブック、各市でいろいろまとめておられる資料がありますのでその紹介部分です。次に、「川を楽しむためのマナー」ということで、これにつきまして流域連絡会で「いろいろ守ってもらいたいことをここに書いておきましょう。これを広めていきましょう」という意味で是非載せたいという部分です。そして右の方にいきまして「流域連絡会の活動」ということで、グリーンの囲いの中に説明があります。主な活動成果ということで、いくつか黄色色の枠の中に示しております。勉強会の様子とか、水循環分科会の検討で流域の土地利用の変遷ついて急速に市街化が進んでいる状況を図にまとめたこと、掲示板を設置したとか、植樹イベントの状況写真も載せてあります。下の方に行きまして、流域連絡会の中で活動している市民団体、今のところ3団体ありますので、紹介文を出していただきまして載せました。それから後ろのページは、東京都の川づくりのページにさせて頂きました。柳瀬川・空掘川の位置がどの辺にあるのか、広くこの散策マップを配布していった時に分からないかもしれないということで、広域の地図をつけております。柳瀬川流域河川整備計画（東京都区間）が、平成18年3月に定められておりますので、整備の理念等を書き込みました。このページは川づくりの説明ページにしたいと考えております。裏は見開きのマップになっています。内容につきましては、関係市の行政委員や皆さんにも内容が大丈夫か確認させていただきながら、特別間違いがないようなものになっているつもりでおります。仮の印刷ですので真ん中部分がダブったりしていますが、一応これで見ていただき、2月末までに何とか2千部印刷を行い、皆さんにお配りできるように作業を進めたいと思っております。そのため、できれば今月末までにどうしてもこの部分がおかしいよとか、整合が付いてないよというような部分がありましたらご連絡を頂きましたと思っています。各活動の中で配っていく資料ですので、間違っているとそれこそみっともない事になりますので、是非、皆様の目を見て明らかにおかしいというところはおご連絡を頂きたいと思っております。今月末までによろしく願いいたします。一応、ここまで作ることが出来ましたので、もう一度最後に皆さんで目を通していただいて、修正があればぜひご連絡を頂きたいというお願いです。あと、流域連絡会の名前を入れてこのパンフレットを作るということで了解をいただきたいと思っております。以上です。

座長 はい、ありがとうございます。マップを見ますと大変情報が盛りだくさんで、しかも見やすく良いものができたと私個人は思っております。マップ作りに携わった方、本当にありがとうございます。それで、申し上げましたように、2月末に印刷にかける予定ですけども、どうしてもここを直したほうがいいんじゃないかのご意見があれば今月中くらいに事務局の方にご連絡をいただければと思います。また、この場でご意見があれば聞きたいと思っておりますが、どうでしょうか。

団体委員 細かい所がいくつかあったと思いますが、修正できればお願いしたいので個別にお伝えします。

事務局 是非よろしく願いいたします。後だとできませんので。

団体委員 たいしたことではないのですけど。

事務局 いえいえ、小さい部分が一番後に響いてきますので、是非お願い致します。

都民委員 このマップの配布先はどこですか。

事務局 流域連絡会の委員の皆さんに、2~3部ずつ配っておいて、それでこういう活動の中で使いたいということがあればご連絡を頂いて、出来れば取りに来ていただくとかして、活用していただきたいと思っています。二千部しかないの、そういう面ではあっとい間に無くなってしまふかもしれないですね。

団体委員 1市について二千じゃなくて全体で二千ですか？一市500ですね。

事務局 そうですね、すいません。

団体委員 これはホームページにアップされるのですか？

事務局 するように考えています。

団体委員 そうですね、ダウンロード出来るようにしておいてもらって。ただ、カラーでとらないといけないし、こういう作りですからね。難しいです。A4で合計8ページでうまくダウンロード出来るようにしていただき、この体裁にならなくてもいいと思います。

座長 地図の方が難しいですね。

団体委員 ええ。地図がだから、難しいと思いますね。A3の2ページにするかですね。ただ、いずれにしてもアップしておいてもらえば、緊急の場合に取れると思います。

都民委員 これは、これまでの活動をまとめたものですね。将来もらおうとしたら川づくりには地域の住民、河川法で決められている住民の声を聞かなければいけないという、そういうことを考える流域の各自治会長に配って、その人たちが読んで、うちの自治会でもこれについて意見を言っておかなきゃいけないとか、委員の方でやってるわけですよ。そういうことについても資料になるような、自治会長にきっかけ、動機を与えるというような、どっか引掛かりを作ってもらいたいですね。

団体委員 今、委員がおっしゃった部分が、合意形成という意味でも非常に大事です。やっぱり、工事説明で直前にチラシ配って、周辺住民に集まって下さいと言っても、なかなか十分に集まってもらえるような状況にはなりません。それで形だけで説明会終わりましたでは、本当の住民参加型にはならないと思います。委員の言うように情報を適宜、時期を得たかたちで提供をしていくということだと思います。

都民委員 体験的に言いますと、東京都の河川工事というのは大体あの埼玉県側との境の空掘川などは、埼玉県の説明といいますと、なんか向こうがやってないんですよ。それ

でね、同じ河川だから集まって一緒にやってもらおうということもやってない。所沢から来る人たちは、反発が凄くエキサイティングなんですよね。ガンガン文句言うんですよ。清瀬側はそういう説明を何回も聞いているし、これがこのようになるのにかけているので、東京都の説明も素直に受けるのですけどね。どうも、雰囲気の違いが入ってきた感じになって、嫌になるのですよ。

団体委員 これは、何回か重ねないと馴染んでこないんですよ。本当はいっぱい呑んでからすると違うんでしょうけど。まあそれは冗談としても、そういうもんじゃないですか。やはり自分の背負っているものがあってパッと出てくると、違うんですよ。だから、そこは、時間、回数、そんな気がしますよ。だから手間かかることですよ。

都民委員 かかりますね。エネルギーがかなり溜まっていて、それを説明会のときに蛇口をパッと開くようなことです。本当に周りの者は迷惑なんです。ですからこういうチラシでも住民や自治会長等のまとめ役に配ることをどっかに入れておいて頂きたい。

座長 わかりました。このマップの活用については、次の流域連絡会の中でも話が出ると思います。

団体委員 委員のご意見は凄く重要だと思います。

座長 そうですね。常日頃のコミュニケーションが大事ですね。

事務局 今日、お配りしている資料はまだあまり鮮明ではないですけど、最終版はもう少し鮮明になると思います。

団体委員 紙質はほぼこれと考えてよろしいでしょうか。もうちょっと重めのものになるんですか。

事務局 まだ、印刷業者さんと話はしてないですけど、もうちょっと重くなると思います。これは普通のカラーコピーの用紙ですのでもう少し厚い紙になります。

団体委員 散策マップだから、やっぱり散策ということに重点を置いていただいて、作っていただけたらと思います。

都民委員 こういう川についての情報がまとまっているというのは非常に良いですよ。これをみると川のことが大体分かる。

座長 そうです。うまくできています。それでは、散策マップについてはよろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは次第の6番目の第四期の活動報告について事務局の方からでよろしいですか。

事務局 はい。「第4期の柳瀬川空掘川流域連絡会活動報告」と書いてある資料です。第4期ではどんな活動したのか、残した方がいいということが前回ありましたので、一応、

第4期の締めくくりということで、まだ素案ですが、このようなものを作ってみました。

1ページは、流域連絡会という部分で、「東京都では平成9年河川法改正を受けて」というような流連はこういうものですよということを記載しています。また、第4期の流連・全体会の活動としてはこういうことをやっておりますという活動内容、全体会の開催状況、いつ開いたか判るように示してあります。その右は、流連自体は平成11年に設置されて、現在、第4期の活動で水循環分科会と河川環境分科会の2つで活動していることを示しています。また、全体会としてはこんなことをやっておりますという写真を載せております。次に、内側の2～3ページは、左側に水循環分科会の活動状況を示しています。いつ開催した、構成員としてはこういう人数で、主な活動内容などを記載してあります。活動内容として、水涸れマップと空堀川流域の土地利用の変遷、あるいは現地調査、ワークショップの意見交換の風景写真と、芝中調節地の将来整備のイメージ図など載せています。次に、河川環境分科会の活動状況を右のページに示しています。同じような感じでイメージの写真とか、柳瀬川・空堀川の問題点の抽出という地図を作成したことや植樹イベントを実施しましたという内容のものにしたいと考えております。最後のページは、その他ということで、散策マップを作りましたということと、流連の設置要綱を載せております。この要綱が活動のよりどころですから、知っていただくということで載せております。柳瀬川の桜祭りや空堀の川まつりの写真を載せたらPRにもなるかなとおもって、とりあえずの案として載せております。一番下に第5期への引継ぎ事項ということで、皆さんに話し合いをしていただき、その内容を記載したいと思っています。今後、第5期の皆さんにお配りしていく上でも、第4期としてこういう活動をして、第5期の委員の皆さんに、こういう申し送りがありますよということを残せたらどうかということで欄をつくりました。折角なので第4期の活動の記録としてこんなものを残したらどうかと思って事務局で作った素案です。ご意見をお聞きしたいと思います。よろしく願いいたします。

座長 ありがとうございます。今、事務局の方から説明がありましたが、全体のまとめ方に対するご意見と、もう一つ第5期の引継ぎ事項について項目だけでもここで出させていただいて、ここに載せたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

団体委員 本日に事務局にはご苦労をかけまして、柳瀬川・空堀川の問題点や写真付きで作って頂いてありがとうございます。それが申し送りとして出来るのかどうなのか。それであれば今年の問題点をね、みんなでやっぱり川を見て学ぶということですかね。流域の川を知ろう、ここで応募してらっしゃる方というのは本当に川をよく知っていて関心を持っている方、あるいはご自分のお住まいの近くの川に問題点を抱えていらっしゃる方、そういう方は川に関心の無い方は応募していらっしゃると思いますのでね。いろんな関心の持ち方の度合いとか違ってくると思うんですけど、これから川をどういう風にしていったらいいのか。都市河川もただ固めて水を流せば良いという川はとっくに卒業して、平成20年3月に技術基準というのが示されておりますが、これからの河川改修もそれに沿った改修をしなくてはならないし、流域の都民も学びながら、それついていかなければいけない。続けて川を学んでいこう、知っていこうということで、河川見学ということは今期の人たちは本当に良く見ていただいたんですけど、来年の構成委員にもやっぱり川を見させていただきたい。それから、どんどん改修されたり、川の中の流れが水制されているので、それを確認していきたい。そ

れから今年の課題点を1つでもいいから解決出来るような動きができるの良いと思います。

座長 今の話は、来期の流域連絡会への引継ぎ事項として、何か、出来れば項目を出していただきたいのですが、何か言葉で表現してもらえれば大変助かります。なにもここに示してあるのが全てとは限りませんので、何か1つの引継ぎ事項、1つの議題だというふうに出してもらえばありがたいと考えております。

事務局 これが出来上がったら、基本的に流域連絡会の委員の皆さんにお配りしようと考えています。なにかPRに使いたいということならもう少しコピーするかもしれませんが、基本的には印刷にはかけませんので、こういう紙で作るものになります。2月末くらいにマップと一緒に配りたいと思いますので、それまでにいろいろ修正、加筆等があれば言っていただければ直せると思っております。

団体委員 言葉を整理して提出していただけるということですね。

事務局 そうですね、なるべく速めにご連絡頂ければ助かります。

団体委員 今の話は、それぞれの分科会の活動状況の結果として、どういうふうな時期に繰り越していくかという話ですよ。

座長 それもあります。

団体委員 委員がいらっしゃいませんが、水循環の関係で言えば活動内容も3つありますから、その中の全部とは言わないまでも、例えば水涸れ対策では河床張りを残堀川で試験的にやった結果をふまえて、要するに地形地層を見ながら実施していくというふうな話がありました。それから芝中調節地の話。こういった点は、引継ぎ事項の中に加えていただいてよろしいと思います。

事務局 全体でなくて、分科会ごとに次回こういうことをやって欲しいというのがあれば、分科会ごとに書いてもいいかなとも思っています。

団体委員 ただ、第5期がまたどういう分科会にするのか、その辺があるわけでしょ。ですからまとめて後記の欄があるのですから、ここへ両分科会の引継ぎでもいいし、全体的でもいいし、そういう形で示した方が良いでしょう。

団体委員 箇条書きにするとそんなに沢山じゃないですよ。きちっとしてもらいたいこと。ですから箇条書きに、文字は少なく、それは皆さんから。私は出させていただきましたけど。

都民委員 我々が結論を得たのは、空堀川に水を流そうということですね。これを流さないで、いろいろ言い合ってもどうしようもない。水があって緑がある。だからそのところだけ人員がどう変わろうと、きちんと書いて欲しいですね。

事務局 流連のことですから、事務局が作るよりも委員の皆さんがこうしたいということを出していただきたい。よろしくお願いします。

団体委員 具体的にはどうしましょう。今、幾つか挙がったので、それは周知されて項目に入れていただけますか。

事務局 メモでもらえると嬉しいのですが、いかがですか。

座 長 皆様のご意見を聞きますと、先ず、水量確保という大きな柱がある。もう一つは河川の緑化、個別ですけれど芝中調節池の検討ですか。

団体委員 流路の確保と重なりますが、具体的には河床張りがあります。

座 長 はい、そうですね。

団体委員 4市共通として、今、都の指導で新しく開発するときは雨水を貯留するようなシステムが出来ていますが、そうでなくて積極的に空堀川の水量確保をする意味での、雨水貯留への努力。

団体委員 そうですね。それがずっと今までの共通したテーマであるわけで、雨水貯留浸透施設が一つの方法である。

座 長 そうですね、水量確保の1つとして河床張りと雨水貯留ですね。あと、緑と芝中調節池ですね。

団体委員 緑と芝中調節池も水量確保に結びつきます。

座 長 結びつきますけど、分けた方が良いですね。

団体委員 今ひとつ、落差工の工夫、生態系に配慮された落差工。

座 長 生態系に配慮した河道整備でも良いし。

団体委員 そうですね。

団体委員 落差工に限らず・・・。

座 長 河川環境整備ですね。生態系に配慮した河川環境整備ですね。

都民委員 それで、河川環境を確保して、それじゃあ流連がどう必要なのか。住民へのPR。これを大きな柱にしないと、今後うまくいかないと思います。

座 長 住民参加ですか。

都民委員 住民参加です。

団体委員 団体委員も何人かいるわけです。団体委員と流連とその辺は話し合いをさせて頂きながら、やっていく必要がありますね。バラバラというよりは、行政とも当然、話し合いをさせて頂いています。私どもはそうさせて頂いていますけど、うまくコラボレーションが出来れば良いかなと思います。

座 長 とりあえず今出た項目でよいと思います。別にそれで全て絞るわけではなく、一つの具体的な大きな柱として示すということでしょうか。

団体委員 是非、挙げて下さい。

座 長 あと、どうしても追加したいというものがあれば、ご連絡頂ければと思います。

都民委員 是非、武蔵村山から都民委員になっていただければと思います。

事務局 武蔵村山に都民委員がいないので誰か出ていただきたいということです。

座 長 公募はしているのですか。

事務局 公募は各市報に載せていただいています。

今日、皆さんにお集まりいただくのが最後なので、これにつきましては、まとめ役のお二人と相談させていただき、最終版を作らしていただいて、皆さんにお配りするというご承りいただきたいですが、よろしいでしょうか。

座 長 どうもありがとうございます。

次に移ってもよろしいでしょうか。次第に従いまして、7番目の第5期委員募集についてということで事務局の方から説明をお願いします。

事務局 一番最後のほうにお配りした紙です。開催案内とかと一緒にお知らせしてありますのでご承知と思いますが、第5期に向けて委員の募集をしております。1月中旬の各市の広報にも載せていただいておりますが、一応、2月10日までに応募の動機について800字程度の作文を書いて提出していただきます。継続の委員の皆さんも書いていただくことをお願いします。ぜひ継続していただければと思っております。選考委員に作文を見てもらい、ほとんど落ちることは無いのですが、一応選考しまして、3月中旬にご本人にご連絡したいと思っております。

最終的にはちょうど時期が、職員の異動時期になりまして、第5期の1回目の全体会は5月中旬頃になるという気がします。一応そのようなスケジュールで考えておりますので、ご協力をいただければと思います。

2番目に応募資格というのがあります。年2回の全体会議、月1回程度の分科会に出席できる方ということになっています。月に1回分科会を開催しているわけではなく、ある程度、そのような時間確保ができる方ということが条件になるかなと思っております。それから第4期の時になかなか団体委員の皆さんの取扱いに問題があったと聞いておりますので、この団体の団体委員として作文を書きましたと、書

いといていただくと嬉しいなと思います。

団体委員 これは応募方法の下に郵便または直接提出とありますが、Eメールでの添付の提出は許されませんか。

事務局 市の広報に直接又は郵送でと載っておりますので、温度差が出てしまうと当然お叱りを受けますので、ここでは良いとは言いにくいです。

座長 原則ということですね。

団体委員 わかりました。

都民委員 団体というのは、どこかに登録してある団体のことですか。

事務局 流域で活動されているということが分かれば、こういう団体で、こういう所で、こういうイベントをしたり、いろんな活動していますという、それで私が代表なり、その事務担当ですということで応募していただければいいかなと思っております。

都民委員 分かりました。

座長 では、よろしいでしょうか。いろいろと分科会の報告等がありましたが、全体で何かご意見があれば受け付けたいと思いますが、ないでしょうか。

なければ、これで閉会ということなのですが、どなたか都民委員の方から誰か代表で何か感想を言ってもらった方がいいですか。事務局でそのようなことは考えてないですか。

事務局 それは都民の皆さんの流域連絡会ですから、私としては、事務局で段取りしすぎるのはよくないと思っております。こういう資料作りも、できれば都民の皆様にお願いできたらと思っております。せっかく時間もありますので、一言ずつでも発言していただくのは如何ですか。

座長 それでは先ず私から一言述べさせていただきます。2年間皆さん、長い間、熱心な活動ありがとうございました。

私は北北建に来る前は、区部にある事務所でやはり1年間程、河川事業に携わって来ました。その中でもやはり流域連絡会がございました。その流域連絡会は、ともすると行政機関への批判、不平、不満の捌け口のような意見が出ました。

ところが、今回、北北建に参りまして、皆様非常に責任感を持って、建設的な意見を言ってくださいました。私はそのことに感動していますし、大変感謝もしております。この良い伝統というか歴史を守って、川作りに向けた本当に建設的で行政と都民が信頼しあえるように手を携えて整備が出来ればと考えております。第4期の方で今度の第5期も委員になるという方が多いと思いますが、今後ともよろしく願います。

団体委員 2年間、私も今回、大変楽しく勉強させていただき、且つ、幾つかの成果が形とし

て見えてきたことが、大変すばらしいことだと思っております。一つにご配慮いただいて、東大和市内に植樹をさせていただいて大変ありがたく思っております。ただ、座長がおっしゃった部分では、幾つか個別の部分でいつも私がブツブツ呟いていたわけですが、今の工事がまったく諸手をあげて賛成できるかということ、諸手を下げたくなる。というのが正直なところです。これはいつも言っていることですから耳タコかもしれませんが、現状の河川線形が残念ながら、直線的に引かれてしまっている。お立場がありますから、なかなか個人的には云々かもしれませんが。しかし、残念ながらその方向で昭和40年代の計画決定がそのまま実行されてしまったことに対しては、非常に顔は笑っていますが強い不満を持っています。残念ですね。誠に残念ですね。特にこれから工事にかかるようなところで、非常に標高差がある。そこを直線に切ってしまう。良い川から対極的な川になってしまうという恐れを持っています。ですから、前の課長に模型を作って検討して欲しいといったのです。実際どんな川になるのか、非常に危惧されます。そういう意味では今、具体的に申し上げますと、旧川になる蛇行している所をどううまく残していくかと言うことと、新川との関係が良くなるようにする。これは技術的にはどうも非常に難しそうなのですが、芝中調節池からの下流の、あるいは上流も含む都市計画公園があり、その下流にも都市計画公園がある。そしてなお且つ蛇行部分がある。こういった部分については何とか良い形で工事が終われば良いなと思っております。これは、町づくりと関係しますので、東大和市でも非常に関心を当然持っていただくところだとは思いますが、事業化に結び付けていけないといけない部分です。非常に難しいですよ。しかし、難しい所こそ進めないとだめだと思えます。市の都市計画で言えば、昭和37年10月の都市計画決定された都市計画公園について河川を抱き込むような形が良い案な訳です。それが残念ながら諸々の事情で事業化が見送られてきた。今後も非常に難しいのではと思う。困難をどう克服していくかが大きいと思えます。是非この認識は持っていただきたいと思えます。よろしく申し上げます。

座長 今の河川の整備方法につきましても基本は昭和40年代に決まったものですから、必ずしも今の時代とあってないと認めさせていただきます。ただ、現実的に旧川をそのまま残すとなるとかえって混乱して問題が大きくなるような部分もありますので、現実的にどんな川がいいのかにつきましても、今後とも皆様とご相談させていただいて誠意を持って対応させて頂きたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

都民委員 です。本当今回、第四期が一番活発に活動なさったと皆さんおっしゃってください、良い時に委員にさせて頂きました。本当に川の下流から上流に向かって実際に歩くということは、問題点が見えてくるということを感じたのでとっても私自身も楽しく勉強させて頂きました。東大和市に植樹が出来たというのもとっても嬉しいことです。これからはもっといろんな所に植樹が出来て、水量確保が出来たらいいなと思えます。水量確保に関してはやっぱり公共機関の所の雨水、プールの水など、色々な水を川に流すためにはどうしたらいいか、とってもお金のかかることですが、そういうことをもっと具体的に現実的に向かって歩み出せたらいいなというふうに思えます。それから東大和市内に関しては、委員がおっしゃいましたけど、水が少ないのに、かなり高い所に新しい川がいくような感じになっているのですが、水が無いのにどうしてこんなに高い所に水が流れるのかなと、10年前の計画だそうですが、用地

買収してやり始めていますけど、その辺を水が流れるためにはどうしたらよいか、かなり前の計画を見直すということはとっても大変なことなんだなとつくづくある意味で感じ取ります。これからもよろしく願います。以上です。

座長 はい、ありがとうございました。

都民委員 初めて参加させていただいて、とっても良い2年間過ごさせていただきました。幾つか本当に形になって結果が出たのもありますけれど、根本的に一番大事な水の問題が片付いてないこと、そして環境を配慮する動きの中で、直線化していくということももう一度見直しが出来ないのかなと思いつつ、最後を迎えています。本当に2年間ありがとうございました。

座長 ありがとうございました。

都民委員 と申します。私も初めて今回参加させていただいたのですが、非常に空堀川をずっと歩いてみて本当に良い勉強をさせて頂いたと思っています。子供の頃の空堀川とずいぶん蛇行の仕方というか、全然変わってしまったので、ちょっとそれは残念だなと思ったんですけど、空堀川が直線化して川幅広くなったのは、川の流れが河床で勝手に流路を作ってくれるのもいいことなのかなと思います。空堀川は、雨が降ると、どっと急速に流れて海の方へ行ってしまうんですね。ですけど、どこかで落差工みたいなもので止めて、雨水をどこかに貯留して徐々に流すような工夫を出来たらいいなとは思っています。今日も空堀川の五中橋の上流側には水がほとんど無いです。水はいつも流れてないと、魚もそうですが、野鳥たちもなかなか来なくなるので、やっぱり川には水が欲しいなと思っていつも思っています。よろしく願い致します。

座長 はい、ありがとうございました。

団体委員 本当に行政の皆さんがとてもお忙しいのに出てきてくださって、一緒に話の中に入っていただけということは凄く感謝しています。これから植栽みたいなものに少しずつ予算を取っていただけるとうれしいです。川の構造、良い川と言われる、都民が本当に親しんで生態系も生まれて、先ず一番に雨水がきちんと流下していく流下能力を持った川。それにはやっぱり河床をしっかり広げて、こわくない川というのでしょうかね。そんな川づくりをこれからしていかなくはいけないと思います。それには地域に住んでいる住民の皆さんの意識というのは本当に大事なのではないかなと思うことが多くございます。そうしたら皆さんが関心もってここへ応募されて、少しずつ意識や認識を持って川を見ていただければいいと思います。ありがとうございました。

座長 ありがとうございました。

都民委員 私は2年間、本当に川のことについて学ぶ機会を持たせていただきました。おかげ様で、少し川の問題について学ぶことができました。都民の方が空堀川の改修をとっても楽しんでいるのですが、まだまだ川についての問題点を全然意識していないようなんです。私、他の川に関する研修に行きまして、ものすごい人数の方が研修会に出て来られる。東大和市では、まだ川に関する行政との研修はありませんけど、やはり、

都民の川に対する愛着とか問題意識っていうのは、やはり私たちの間に立って、市の方でなくてはいけないのかなと思いました。ありがとうございました。

座長 ありがとうございました。

都民委員 と申します。私も第4回流域連絡会から参加させていただきました。この2年間、私としては、前半戦はかなり参加できたんですが、後半戦、火曜日と木曜日に会合がありまして、この火曜と水曜は必ず流域連絡会とバッティングしてしまいました。できれば、火曜、水曜はずしていただければという希望を出しておきます。大変満足にお力添え出来ることは無かったかなと思うんですが、2年間本当にありがとうございました。私は、感想と致しまして、先ほど座長が言いましたように、行政と都民の方との関係が非常によかったと思います。普通、都民は行政に対して、かなり要求ばかり、批判ばかりというケースが多いのですが、大変こうじっくりとうまく出来たのは、都民の方々の姿勢もそうなんですけど、行政の方々の取組み姿勢に大変私も感激した。難しい問題にかかわらず、大変きっちりと、しっかりと正面から一緒になって取り組んでいると実感しました。私はなぜこの会に参加したかということ、よく散歩する時に空堀川と野火止用水から選んでします。空堀川の時は、大体夕方、青葉町に住んでいるのですが、青葉町から下流に向かって歩くのですが、そうすると大変河川の空間が広くて、なお且つ夕暮れ時の大変美しい空を見ながら歩くと夏から秋にかけては大変気持ちいいです。野火止用水については夏の昼間に木陰があり歩けるのですが、空堀川は暑くて昼間歩けない。私のイメージとしては、空堀川よりも野火止用水の方が河川の幅が広いようなイメージがあります。要するに水が流れ、且つ並木道があるイメージになりますと、大変すばらしい地域の大きな財産になると思います。野火止用水も大変な流れの激しい川で、我々も河川の勉強しながら歴史を作っていく、歴史を作るということは、物を残していくということですから、野火止用水のイメージの具体版ということを意識しています。いろんなお話の中で、どうしても予算という言葉が出てきましたが、予算で物事が終わってしまうとシーンとしてしまう。ある予算で出来る事は何かと、具体的に例えば1期ごとに何か実現可能性のあるものを取り組んでいくと、より達成感があると思います。構想段階から計画段階ぐらまで、物事が進むと、なんかやったなと言う感じになりますが、まあ、予算が無いなりに取り組んでいくことが大切だと思います。今後ともよろしく願いいたします。

座長 どうもありがとうございます。

行政委員 武蔵村山市道路公園課の と申します。昨年4月から行政委員として参加させて頂きましたけど、なかなか出席できなくて大変申し訳ありません。先ほどからいろんなお話を聞いていて、空堀川に対する皆さんの強い思い入れを感じさせていただきました。残念ながら武蔵村山市から委員がいらっしゃいません。1月15日以降、市の広報に第五期の募集を掲載させて頂きますので、出来れば委員に応募して頂ければいいなと思います。今期はあまり参加できませんでしたが、これからはできるだけ参加していきたいと思います。ありがとうございました。

座長 はい、ありがとうございました。

行政委員 東大和市建設環境部参事の と申します。空掘川につきましては、我々行政の方でも流域四市でいろいろ検討会を開いております。そういった中で私ども東大和市では、こういった流域連絡会の委員の皆様のご意見を検討会に反映させて生きたいというふうな考えもございます。こういった中で是非、空掘川を先ほどから水環境の問題につきましては、いかに流水を確保するか、親しまれる河川整備などの東京都の方々の御尽力に我々も非常に感謝しております。そういった中で、今後もこういう会を発展させて、空掘川を親しめる河川というふうに検討していきたいと思っておりますのでよろしくをお願いします。

座 長 ありがとうございます。

行政委員 北北建の管理課長の です。私も4月から参加させていただいたのですが、私は多摩はあまり知らなくて、区部の方だけだったのですが、区部の方はカミソリ護岸というんですかね。そういう護岸があって、いわゆるレクリエーション、楽しめるといふ部分に関しては、だいぶ多摩とは違うかなという印象を持っています。多摩の方ですと、いわゆる親水護岸で、そこに行って楽しめる。河道も広く、それから、色々なレクリエーションが出来る、やっていける、またそうしていくという。そういう護岸にしていく。多少もちろん時間とお金がかかりますけど、一言で言うと親しめる河川になればなと思います。よろしくをお願いします。

座 長 はい、ありがとうございました。

都民委員 僕は、せせらぎ公園を造っているんです。元々出身が長野県で千曲川の沿川にいましたからね。川とか自然の中で育ったわけですよ。それで、せせらぎ公園を造って、実際の所、町づくりの一環みたいなもので、非常に環境が変わりました。ところが、住民の方から、空掘川は水が流れてなく、悪臭が漂っている。何とかすべきではないかと言う声が出てきて、歩いてみたわけですよ。これがいったい川かという感じのところですよ。これ何とかしなきゃおかしいんじゃないですかと前の課長補佐のさんに言ったらですね、じゃあ流域連絡会に入ってそういう意見言ってくださいよとやることで入ってきたんです。最初は流域連絡会というのは何を狙って、具体的に力入れてやっていける組織なのか、ちょっと分からなかったんですけど、分からなくても何かやってもらうように働きかける。で、工事2課のほうで率先して都に働きかけてやってもらえばいいじゃないかというふうに思った。じゃあ、何をやるかという空掘川の水を流す。河床張りで水を流すということを強く言っていける。ぜひこの会からそういう意見が出ていかなければ、この会の存在意味が無い。なんか、川の都民の会みたいに、わいわいやっていても意味無いと思いますよ。それで、第1には河床張りで水を流してほしいということにして、あと2年くらい一生懸命やれば何とかなるのかなと。期待してますけど、お金が無いとか聞きますが、ただお金がないといっても東京都の都の職員は、みんな住民が喜ぶ仕事をすれば、それは都の職員も非常に励みになると思うんですよ。だからそれに対しては、住民は一生懸命、協力するから一緒に力をあわせて、一緒にやっていきたいと思っております。そういう想いでこの流域連絡会をさらに、地域の人たちも入れたりして、力強いパワーのある会にしたいと思っております。以上です。

座長 はい、ありがとうございました。

都民委員 清瀬の と申します。3期やらせてもらってますが、一体何やってきたのかなという思いなんですけど、なかなか思い通りに行かない。先ほど誰かがおっしゃってましたけど、不信感というか、計画の根底に不信感があるんですけど、それを乗り越えて何かやっ行って行かないとなると、行政の皆さんと一緒に話し合いをやってそれから、感情的にいろんなことを言って話が長くなるということが良く分かりました。特に水量確保の委員のスタイルが非常にすばらしいのと、頭の下がる思いが致します。声高に言えばなんでも解決するわけでもなく、一步一步進めていく。水量確保といいましても大変な問題です。今日も歩いてきましたけど、あそこは自動車で走れそうな川になっているんですけど、それをどうやっていくか。出来ましたら、先ほどどなたかおっしゃってましたけど、1期で河床張りが10m出来たとか、そういう結果が得られればいいかなと思っている。是非、行政の皆様にも努力していただきたい、というふうに思います。以上です。

座長 はい、どうもありがとうございました。

団体委員 第5回に既になるんですけども、子供たちに関っている私たち、川づくり清瀬の会は、水質調査とか川の観察、動植物の観察など総合学習に関っておりますが、その中で、大学生から小学生まで、そのひたすら発表と交流なんですね。そして今回はひばりが丘から歩いて10分くらいの自由学園。この自由学園の中にはなかなか個人としては入れなくて、見てないから分からないんですけど、自由学園の子供さんが案内を今回してくれまして、それは午前の11時からなんですね。どうぞお近くの方は子供たちの大学生から小学生の発表を聞いていただくということも大事なんですけど、自由学園の中の自然を見ていただくのもいいのかなと思います。ただ、自由学園の中をのぞき見るときに子供たちが、生徒さんが案内して下さいます。ある程度のお席に数を知りたい。ですから、11時から学園の中の見学に参加される方は、一番下の担当さんにお電話をしてお出かけいただいたらありがたいと思います。以上です。

事務局 お配りしてないんですが、東京都公園協会が2月2日にニコルさんをお呼びして、何かお話を聞く会があるということです。自由参加ではなくて、事前の届出が必要のようです。参加可能な方は委員に言って頂ければと思います。

団体委員 公園協会のさんが、地域の団体の面倒を見てくださって、上限3万円の補助金、川づくり形成の会や川祭りなんかをすると、非常にありがたく使わせていただいています。その、お世話をしてくださっている皆さん、頂いている皆さんの交流会なんですね。私たちは地域でこんな活動をしているという発表会の場所なんですけど、そこでニコルさんのお話があるので、どうぞ関心のある方は、ただ、一団体から3人だけといいますが、まだまだゆとりがありますので、どうぞお誘いをしてくださいということで、今日、そういうお言葉を頂きましたので、参加される方には、葉書が来るんですね。葉書を持った方が、参加をするという形になりますので、参加される方がいらっしゃいましたら、どうぞ今、お手を上げていただければ私がまとめて申込みをしておきます。ニコルさんのお話と、それから、皆さんの活動報告が終わったらそのまま帰宅する。あとの立食パーティーは第3部ですね。これは公園協会の本当に公園に

関った人のみが参加される交流会で、二千円の立食パーティーには川に関する人たちは出席できませんので4時30分の閉会。そこまでの参加になります。でも、ニコルさんの話を聞いてみたい。それからおそらく、活動報告するには映像を使いますので、見ながらにして、ここに出ている活動報告の5つ、6つの団体のその状況を見ながらにして知ることが出来るんじゃないかなという思いがあるんですが、どなたかよろしいですか。お帰りまでに私に声を掛けてください。

団体委員 続いて、今、白黒コピーでご案内を差し上げています。これは、今日、お見えになってない 委員のところのNPO法人・空掘川に清流を取り戻す会が2月14日に主催する環境講演会のご案内です。そこにありますように、2月14日の13時から17時、会場は東村山市地域福祉センター、旧保健所です。その地図があります。ということで基調講演が東大の名誉教授の 先生でこの会の顧問であります。それから2部が活動事例発表という内容です。ぜひ、ご参加をいただければということです。今日、 さんからこの件を預かった訳ではないですけども、私もこの会には会員として参加していますもので、ご紹介をさせて頂きました。以上です。

都民委員 これも、事前に申込みが必要ですか。

団体委員 特にありません。おそらく大丈夫だと思います。会場が、あふれることはないと思います。東村山の駅から徒歩で7~8分かと思います。ちょっと分かりにくい図ですが、会場はコーナーの所です。コンビニと書いてある向かい側です。よろしく願います。

座長 よろしいでしょうか。2年間、皆様の貴重なご意見、活動を無駄にすることなく、第5期流域連絡会につないでまいりまして、また、皆様と手を携えてやってまいりたいと思います。今後ともよろしく願います。ありがとうございました。

全委員 ありがとうございました。